

えんちく PTA 連合会

えんちく PTA 会報

えんちく PTA は塩尻東筑摩の各地区単位 PTA を応援する会報誌です。



写真：塩尻市立広丘小学校「自分たちの学んだ広丘を紹介します！6年生 みてある記」
撮影日 2025.11.18



写真：塩尻市立広丘小学校「普段と違う体験をしてみよう ひろおか奨善塾 スラックライン」
撮影日 2025.10.25



写真：塩尻市立丘中学校「吉田地区お祭りでのボランティア活動の様子」
撮影日 2025.10.19

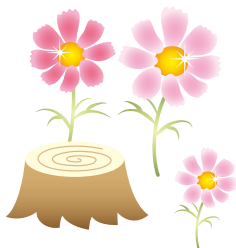


写真：塩尻市立丘中学校「休み時間カフェにて役員と生徒の様子」
撮影日 2025.11.19

『子どもの豊かな未来づくり』
～共に学び・語り・育てよう～

2026

3 月号



単位 PTA 会長会実施報告

シリーズ

「私達の学校紹介」吉田小

「学校給食レポート」宗賀小

「いっしょに学ぶ」両小野中

「E コラ」塩尻東小・「いまのきもち」

東筑摩塩尻 P T A 連合会報 No.49

<http://enchiku.net/>



令和7年度 第2回単位PTA 会長会

開催日：1月17日(土)
場 所：塩尻市総合文化センター



単P会長会 全体写真

令和8年1月17日(土)、塩尻市総合文化センターにて第2回単位PTA 会長会を開催いたしました。前半は、令和6年度の当会会長であり現役の学校教員でもある北沢寿明様より、「学校と地域にPTAはどう橋を架けるか」というテーマのもと、教員目線として人員不足や保護者対応の難しさ、保護者目線での先生や学校に対して何ができるのかという両面からのご講演をいただきました。先生方は「ありがとう」の言葉で救われる。地域の方やPTAの協力で学校を支えることができる。これからも子どもたちが笑顔で安心して学校生活を送れるよう、PTAとして「できることを、できる人が、できる時に」無理なく取り組んでいけたらと思いました。



後半は、参加者全員によるグループワークを実施しました。前半の講演内容を踏まえ、「各校PTAが地域と連携して行っている活動内容と課題」をテーマに6つのグループに分かれ、和やかな雰囲気の中で各校の取り組みや課題について話し合い、積極的な意見交換ができました。各校でPTAの取り組みは違いますが、「子ども達の笑顔のために、学校を良くしたい!」という思いは共通です。これからも、それぞれの地域に根ざした特色あるPTAを作り上げてほしいと願っています。

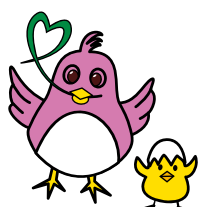
副会長：田村 枝里香 / 副会長：田中 信宇

第2回単位PTA会長会 参加者の感想(抜粋)

グループディスカッションで、他校のみなさんの活動内容を聞かせていただいたり、当校の活動に興味を持っていただいたり、と有意義な時間を過ごせました。単位PTAの部会はとても勉強になりました。

私たちPTAができることは学校と地域との協働だと思いました。学校の先生が忙し過ぎる現状の中でPTAや地域が学校と対話し協働することで三者それぞれがすべきことがみえてくると思います。グループディスカッションでは各校の地域との取り組みを知ることができて興味深かったです。他地域の方を知るといのはとても学びになるので郡市を超えたつながりをもっと深めていきたいです。

各校の特徴的なコミュニティースクールとの関わりを聞いたのは有意義だった一方で、そのイベントにベターなものマストのものの取捨を子ども、親の減少から行わなければならない、PTAで合意を得ながら進めることの難しさを感じた。



私立の達 学校の 紹介します

塩尻市立

吉田小学校



児童数 456 名

校長 小柳津由紀 P T A 会長 中野 智之

住所：塩尻市広丘吉田 1097 <https://www.fureai-cloud.jp/yoshida-e>



吉田小学校は、昭和57年度に広丘小学校から分離開設し、45年目を迎えています。塩尻の北部に位置し、松本市との境がすぐ近くにあり。東側には田川が流れており田園が広がっていて、西側には国道19号線が南北に走っており商店や住宅が広がっているという、街の利便性と自然あふれる環境が共存している様子があります。校内には「ちごちごの花」と呼ばれるいわゆるおきな草が植わっており、学校のシンボルの一つとして全校で大切にしています。



ちごちごの花

本年度の重点目標は「笑顔でつながる吉田っ子〜本



チルドレンオリンピック

気で聴き合う仲間になろう〜」です。児童はあいさつ、交流、美化、短歌を重点活動に、教師は子どもの声を聴けることを本気目標に据え、目標の具現に向け取り組んでいます。12月上旬には「短歌の日」として、塩尻短歌館の方をお迎えして、短歌を書くときのコツを教えていただいたり、想像力を膨らませる活動を実施していただいたりしました。また児童会の各委員会が様々なブースを設け、姉妹学級のグループで回る「チルドレンオリンピック」では、学年関係なく楽しく関わり、交流の場を広げることができました。代表委員会による「あいさつの日」や、清掃前の黙想タイムも目標達成に向けた大切な活動として位置づいています。

コミュニティ・スクールの活動では、多くの方々が学校教育に関わってくださっています。交通安全の見守りはもちろん、授業や行事のサポートなど、その在り方は多岐にわたります。特徴的な活動として例年、子どもたちが夏休みのときに、「夏ゼミ」という名称で、いくつか講座を開き、学習や交流の場を設けてくださっています。今年度はPTAの本部役員のみなさんが中心となって「田川の水生生物観察講座」を開設して下さり、多くの子どもたちと保護者の方が参加しました。コミュニティ・スクールやPTAの活動のおかげで子どもたちに幅広い体験の機会を与えていただいています。

PTA 担当教諭 江口 真也
常任委員 青柳 公章



夏ゼミ 田川の水生生物観察講座



特集 みんなだいすき

Vol. 44

学校給食レポート



塩尻市立宗賀小学校の給食の紹介



1年生4月初めの給食

宗賀小学校の児童、職員合わせて約230人分の給食を、給食調理員さん3名と、栄養士の先生1名で美味しく作って頂いています。

毎年9月に「宗賀の日①」があり、給食は

「ちくわカレー」です。コロナ禍前は、全校児童が校庭でちくわカレーを作って食べていました。コロナ後は校庭でのカレー作りはなくなりましたが、各学年の児童が育てて収穫した、じゃがいもや人参などを使用し、ちくわカレーを提供しています。「宗賀の日」は、11月に全校レクと焼きいも会の②もあります。

栄養士の先生は、給食の食材に、長野県産や塩尻産など、地

場産食材を積極的に献立に取り入れるようにしています。また、「魚が苦手」などの声を聞くので、魚料理でも美味しく食べてもらえるように、調理法や味付けを日々模索し工夫するなど努力して下さっています。

児童に人気のリクエスト

給食、保護者の方を対象とした試食会と、学校給食は皆が楽しみにしている時間です。安心、安全でおいしい給食を作って下さっている、給食調理員さん、栄養士の先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも美味しい給食をありがとうございます。

常任委員 高倉誠



宗賀の日 ちくわカレー



にんじんの種まき作業

特集「学校」「地域」の連携活動紹介 いっしょに学ぶ

コミュニティ・スクール活動紹介



アントレプレナー学習発表会

両小野中学校は塩尻市北小野地区と辰野町小野地区の2つの行政区からなる組合立の学校です。平成23年度から両小野小学校と両小野中学校で小・中一貫教育を行う「両小野学園」として始まり、現在は保育園も含めて特色ある教育に取り組んでいます。

本校で取り組んでいるアントレプレナー学習では「たのための里の一員として、地域の課題に向き合う」をテーマに、各学年で地域のために自分たちができることを実践しています。

1、2学年では、主に「地域の魅力を発信しよう」という内容で活動しました。1年生は、地域の自然と歴史に

ついて調べカレンダーを制作したり、うとうくんのキーホルダーを手作りしてイベントで配布したりしました。2学年は、両小野地区の伝統行事や名所を調べ、観光客向けのマップを制作したり、ホームページで発信したりしました。今後、パンフレットとしてまとめ、両小野地区を訪れる方に配布する予定です。

3学年では、「地域の未来を考えよう」をテーマに、地域の課題を調べ、自分たちにできることを考えました。学習の成果は辰野町の「ほたるの里中学生議会2025」での発表や、霧訪山へのベンチの設置、日本ど真ん中



手作りキーホルダーの配布

両小野中学校



作ったベンチを霧訪山に設置

ウォークでの名所案内等の協力の、という形で示すことができました。

11月には今年度のアントレプレナー学習で学んだこと、取り組んだことの発表会を行い、地域の方と憑の里のよりよい未来について意見交換を行いました。

本校は小規模の学校ではありますが、今後も地域と一体となり子どもたちの学習につなげていければと考えます。

学校支援コーディネーター 青木 喜子
教頭 山田 淳子
担当 常任委員 小澤 佑規



塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校
生徒数 58名
住所 塩尻市北小野13389番地

元阪神タイガースの横田慎太郎選手を描いた映画「栄光のバックホーム」を見ました。野球の名門高校からドラフト上位でプロ野球の世界に入り、病魔に侵されてからもリハビリに励み、引退試合で絶妙なバックホームを見せたというものです。見終わった後、「あのバックホームは日頃の血のにじむような練習、そして何より野球への情熱が彼を無意識に動かしたのだ」と思いました。少なくとも、「こうボールを取ったらどの方向、どの高さでボールを投げるか」などといちいち考えてはいなかったはずです。

好き！そのもの…

塩尻市立塩尻東小学校

教頭 会津 健市 先生



一方、本校1年生の様子。「世界一のポップコーンを作って、みんなに喜んでもらう」という目標のもと、何回もポップコーンを作っていると手際がよくなってきた、担任と「もう我々の出番はいね」というくらいのレベルに達してきました。コンロに点火する、油を入れフライパンを振りながら蓋をする、バターを溶かし目分量で醤油と合わせる…。いちいち考えなくても、知識や技術がそれぞれ結びついて一連の流れになる、まさに「知識の自動化」ともいえる境地です。そして同じことを何度もやっていると実は、やることは少しずつ変化してレベルが上がっている、自動化だけでなく高度化もしているのです。

ICT機器を駆使し、AIに頼れば知識はいくらでも得ることができる。そんな時代に「学校は何のためにあるのか」という問いは続きますが、間違いなく『好き』を作り出す「体験や他者との交流を通して知識同士を結びつけ、自動化しレベルを高め、様々な場面や目的のために使えるようにする(汎用性を高める)」ことが学校の使命の一つであるといえるでしょう。

いまの きもち

～郡P常任委員メッセージ～

昨年度副会長としての任期を経て会長職をお預かりさせていただいた1年間となりました。単位PTAのみならず、県PTA連合会や教育関連団体様等多くの方々との連携は、緊張感もありましたが大変貴重な経験をさせていただきました。今年度の役員・常任委員のみなさまには不慣れな運営に対し、常にあたたかいご協力をいただき本当にありがとうございました。

塩尻東小 鈴木暢生(会長)

郡PTAはおろかPTA活動そのものについての知識もなく関わった経験もほとんどない状態からのスタートでしたが、役員の皆様、事務局の小坂さん、そして関係する皆さまに教えていただき、助けていただきながら、楽しく活動することができました。また、他校の役員の方々や先生方との交流を通じて、自分の視野が大きく広がったことを実感しています。この一年間、本当にありがとうございました。来年度も、PTA活動が持続的で実りあるものとなるよう、精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

広陵中 田中信宇(副会長)

会長をはじめ常任委員のみなさんに支えられ、慌ただしいながらも充実した2年間でした。週末に会議が多い中でも、家族や友人の協力のおかげで、子どもたちの予定と両立しながらなんとか活動を続けることができました。そして事務局の小坂さんにはたくさん助けていただき、心から感謝しています。2年間ありがとうございました。

榎川小中 齊藤 恵(副会長)

女性副会長という役をお預かりし、右も左もわからないまま始まった1年でしたが、会長をはじめ役員、常任委員の皆様、事務局小坂さん、学校の先生方の温かいご指導とご協力の下、何とか終わることができました。本当にありがとうございました。力不足ではありますが、来年度もPTA活動にご協力いただいている皆様のお力になれるよう、精一杯努力して参りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

洗馬小 田村枝里香(副会長)

様々な学校の皆さまと一緒に活動できたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。日頃は見えにくいところで、保護者・学校・地域の方々子どもたちのために力を合わせ、豊かな育ちの場を支えてくださっていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、このつながりが次のの方々へと引き継がれ、より良い形で紡がれていくことを願っています。

広丘小 岩佐麻貴(常任委員)

郡PTA連合会はどんな活動をするのか?というところからのスタートでした。1年間活動してみて、今もなお全体の半分も分かっていないのではないかと、というのが正直な気持ちです。それでも活動を通じて、単位PTAや県PTAを含めたPTA活動が、子どもたちの学校生活を支える大切な役割を担っていることを実感しました。また、他校の常任委員の方々との意見交換する機会にも恵まれ、多くの学びがありました。1年間、ありがとうございました。

吉田小 青柳公章(常任委員)

今回中学校のPTA会長と郡P常任委員の2足の草鞋で多少大変な部分もありましたが、役員の皆様や先生方の協力もあり何とか活動することが出来ました。その中で会報担当という役目を仰せ使いわからないことばかりでしたがサポートをいただきながらなんとかやってこれました。他にも色々と学ばせていただき、また経験できたことを光栄に思ひます。1年間本当にありがとうございました。

丘中 竹淵博章(常任委員)

役員の皆様や先生方との関わりからPTAについて理解を深めることが出来ました。研修会において、一つのことを皆で創り上げる楽しさと充実感は貴重な経験です。皆様ありがとうございました。

塩尻西小 篠田主馬(常任委員)

「郡P」の常任委員になり、初めてPTA活動に携わる事になりました。月1回の常任委員会の他に、今年は関プロ長野大会・塩尻分科会の運営、参加する中で、各学校の発表を觀たり聴いたり貴重な経験をさせていただきましたし、学校の先生に話しを聞く機会が出来た事も良い経験になりました。気が付けばあっという間の1年でしたが、一緒に活動した常任委員の皆さんと、先生方には感謝しかありません。ありがとうございました。

宗賀小 高倉 誠(常任委員)

三役の皆様、常任委員の皆様一年間ありがとうございました。

ホームページ更新、議事録作成を担当させて頂きました。行き届かない点もあったかと思いますが無事終える事が出来そうです。他校の方との交流もできましたし、何より自身の学校について知る良い機会になったと思ひます。あっという間の一年間でしたが、とても良い経験になりました。今後もできる範囲でPTA活動に協力していきたいと思ひます。

山形小 増塩勝美(常任委員)

「大変な仕事かもしれない」というイメージからのスタートでしたが、実際には支えあいながら、安心して役割を務めることができました。とても楽しかった1年でした。

塩尻西部中 岡田 唯(常任委員)

今年度、郡Pで活動させていただき、役員さんをはじめ常任委員の皆さんには、分からないことを丁寧に教えていただき、多くの場面で助けていただきました。皆さんの心の温かさが、私にとって一番の学びです。その思いを子供たちにも伝えていきたいと思ひます。PTAが先生方や保護者の皆さんにとって無理のない、温かい存在であることを願ひます。本当にありがとうございました。

生坂小 皿井さなえ(常任委員)

三役、先生方、常任委員の皆様1年間ありがとうございました。今年度はPTA関東ブロック大会長野大会も開催され普段の活動より多くの経験ができました。振り返る中で他校の課題や取り組みを聞いたことは大変ありがたい機会でした。役員としては今年度までとなりますが今後も子どもたちの力になれる事があれば協力していきたいと思ひます。

両小野中 小澤佑規(常任委員)

